

教義の壁を越える： 仏教徒とムスリムの相互理解に おける「並列主義」

Overcoming the Doctrinal Gap: Parallelism in Contemporary
Buddhist-Muslim Perceptions

小布施 祈恵子 Kieko OBUSE / 神戸市外国語大学 客員研究員

2017年10月27日(金) 15:00 - 16:30
同志社大学今出川キャンパス 至誠館3階S34教室

京都大文学部卒、英国オックスフォード大神学部博士課程修了。専門は宗教学。

仏教とイスラームの間には、至高神の存在を巡る議論など、しばしば教義的に隔たりがあるものとされている。しかし近年両教徒の間で、主要な概念や教義の類似性を指摘する新しいアプローチ（「並列主義」）が出現している。これは多宗教の神学における排他主義、包含主義、多元主義への追加的なカテゴリーとして提唱されるが、用いられ方が異なっている。本講義では、代表的な学者達の見解を検討し、並列主義が用いられる要因とその意味について議論し、世界の宗教的多様性に関する教義的/神学的な論議においてそれがどのように位置付けられるかを探る。



15:00 - 15:05 挨拶 四戸 潤弥 (神学部・神学研究科教授/CISMOR センター長)

15:05 - 15:50 講義 小布施 祈恵子

15:50 - 16:30 質疑応答

* 講義は主に英語で行われますが、日本語による解説もありますので奮ってご参加ください。 **Lecture in English**

* CISMOR セミナーは1年を通して定期的で開催する予定です。申込みは不要ですが、今後継続して参加をご希望の方には事前に連絡・資料配布などいたしますので、ご登録をお願いします。氏名・所属大学・ポジションをご記入の上、一神教学際研究センター rc-issin@mail.doshisha.ac.jp までメールにてご登録ください。